

訂 正

地質調査所月報 第17巻 第11号, (26—(698) 頁と 27—(699) 頁の間) の第1表, 右上部を下記のように訂正致します。

Mg ²⁺	天 然 ガ ス (vol. %)					
	He	H ₂	O ₂	N ₂	CH ₄	CO ₂
.....
.....
.....
26.4	0.024	0.007	0.20	11.78	80.16	7.83
16.5	0.016	0.000	0.04	36.40	57.59	5.95
14.4						
3.6	(0.070)	0.000	(0.00)	(61.76)	(38.10)	(0.07)
	0.041	0.000	8.75	68.97	22.20	0.04
3.02	0.001	0.001	0.04	8.02	91.48	0.46
73.2						
6.12	0.000	tr	0.07	0.57	0.27	99.09
28.8	0.003	0.068	0.04	4.42	90.15	5.38
—	0.000	0.000	0.97	8.56	86.19	4.28
—	0.001	0.000	0.67	24.42	74.66	0.25
—	0.000	0.000	0.90	15.22	83.75	0.13
19.5	0.000	0.000	14.50	30.38	51.50	2.82
6.86	0.001	0.000	0.14	62.39	34.81	2.66
23.8	0.010	0.000	0.45	60.35	34.22	4.97
9.29	0.012	0.000	0.28	73.58	25.00	1.13
15.0	(0.001)	(0.001)	(19.42)	(77.80)	(0.68)	(2.10)
8.57	0.001	0.001	0.87	66.19	32.08	0.86
8.00	0.001	0.000	4.39	62.58	28.81	4.22

地質調査所月報 第17巻第12号 12—(760) 頁~13—(761) 頁の第3図と第4図は図のみ入れ替っておりますので, 第4図を第3図に, 第3図を第4図に訂正致します。

および Ghazvin 地方に行かない、また10月28日から31日まで Esfahan, Shiraz および Khuzestan 地方について行なった。

はじめのハマダン・ガスピン地方巡検においてはガナート (Ghanat) およびガスピン地方の水資源および農業開発について見学した。

第2回目はイラン国の南部高原に当る地方で、エスフハアンにおけるガナート、シラズにおける野井戸および水開発およびクゼスタン地方総合開発についての視察を行なった。

クゼスタン地方はペルシヤ湾に望むデス川流域の平野地帯で、イランにおける代表的な総合開発地点で、中近東一と称する高さ203mの、皇帝の名のついた Moham-med Reza Shah Pahlavi Dam が中心となり、この水を用いて発電と大規模の農業開発と砂糖工場ができてい

る。ここで興味ある問題は砂糖きびの灌漑に表面散水や水路によらず地下水の上昇によって根の末端から水分を吸収させる方法を採用していることで、2m位の溝を掘りそのなかに素焼のパイプを布設し、水は管の継手から自然漏水によって地下水に供給され、その水量の加減によって地下水面を加減している。砂漠の一角に、青く太い砂糖きびの畑は、水の偉力を印象づけられた。

講演はイランの地下水開発、とくにガナートについて行なったが、ここにそれらを要約する。イランのガナートは原始的な地下水開発の方法として有名で、とくに中

央平原地区に発達し、その数4万以上のガナートが3万の村々へ飲料水や農業用水を供給してきたもので、現在約2.5万のガナートが活躍し、耕地の1/3に水を送っている。ガナートは最上流部の立坑または親井戸 (Mothen well) と呼ばれる井戸から地下水の流れの方向に向って下流側にトンネルを掘って行くもので、地下水面下のものを Wet part (湿潤部) または Drainage tunnel (排水トンネル) 地下水面以上のところのものを Dry part (乾部) または Conveyance tunnel (導水トンネル) および Open part (開部) または Conveyance canal (導水開渠) の4つの部分からなっている。隧道は高さ1.2m、幅0.8m、総延長は数百mから50kmに及ぶが普通5km前後、親井戸の深さは数mから200m、普通30~50m、排水量は数 litre~300 l/sec で、ガナートによる年間総排水量は12,000百万m³で、1m³当りの単価は邦価2.5円以下という。

近年地下水開発はガナートによらず深井戸や浅井戸を掘り、ポンプで揚水する場合が多くなり、深井戸は口径300mm、深さ100~150m、浅井戸は直径1m以上、深さ100m以浅、必要により横穴により水量の増大を計っている。

地下水開発が進むにつれて、イランでも相互干渉と水位低下がおこり問題になり始めている。

11月2、3両日各国代表の論文発表があり5日閉会式が行なわれた。(応用地質部)

訂正

地質調査所月報、第17巻、第12号751頁、第3表のうち試料番号26のMgO、0.08は0.80に訂正致します。